

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 2月 22日

所属・職名	人間社会学部 准教授	氏名	齊藤紀子
研究課題	社会的課題解決のためのセクター間協働の発展プロセス		
研究キーワード	政府・企業・NPO間の協働、発展プロセス、生活支援サービス	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>社会的課題解決のためのNPO－行政－企業間協働の発展プロセスにつき2018年にまとめた論文「社会的課題解決のためのセクター間協働の発展プロセス－高齢者向け生活支援活動「まごころサービス」を事例とした実証研究」『千葉商大論叢』第56巻第2号をもとに、問題意識を進展させてきた。本論文で事例研究の対象とした生活支援サービスについて参与観察および文献調査を進める中でティール組織への関心を深め、「日本の生活支援サービス（有償ボランティア）の運営にティール組織は適用可能か」という問題意識をもつに至った。</p> <p>ティール組織のひとつ「ビュートゾルフ」（オランダ）へのインタビュー調査（2019年7月）にあたり質問項目をまとめ（インタビュー調査は共同研究者が実施）情報整理を行うとともに、生活支援サービスにかかる全国フォーラム「いきがい・助け合いサミット in 大阪」（2019年9月）に参加し生活支援サービスを巡る動向調査を行った。今後、問題意識をリサーチ・クエスチョンとして磨き研究を進めていく上で有益なデータ・資料を収集することができた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間社会学部編『はじめての人間社会学（仮）』（中央経済社、近刊）における第4章「協働でつくるソーシャルビジネス」 <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC購入費 ・学会、研究会、カンファレンス参加費 <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学長プロジェクト2「CSR研究と普及啓発」におけるBチーム「USR（大学の社会的責任）を果たすための新しい指標づくりに関する研究」 <p style="text-align: right;">（本文は1ページ以内にまとめること）</p>			